

時計台記念病院・時計台記念クリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。研究への協力を希望されない場合は、下記お問い合わせ先までお知らせください。その場合でも、患者さまに不利益が生じることはありません。

※単施設研究用

研究課題名	子宮全摘後の腔断端脱に対する腹腔鏡下仙骨腔固定術と従来法の治療成績の比較
当院の研究責任者	所属：女性診療科 氏名：板橋 詠子
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 西暦 2022 年 3 月 31 日
研究の意義・目的	当院での子宮全摘出術後の腔断端脱に対する術式は2018年まで主に経膈メッシュ手術を行っていましたが、FDAの経膈メッシュ手術に対する警告もあり、リスク回避のため、腹腔鏡下仙骨腔固定術や従来法である仙棘靭帯固定術、膈壁形成術へとシフトしています。今回、より良い術式を患者様に提供できるように各術式が経膈メッシュ手術に代わる有効な方法であるかを比較検討します。 なお、研究結果は本年9月に行われます、第61回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会において発表を予定しております
研究方法	《対象となる患者さま》 2015年1月から2020年4月にまでの間で、当科において腹腔鏡下仙骨腔固定術ならびに仙棘靭帯固定術を含む従来法の手術をうけた子宮全摘出術後の腔断端脱症例38症例を対象とします 《利用する試料・情報》 各術式につき、対象症例の年齢、POP-Q分類、BMI、手術時間、出血量、疼痛、新規腹圧性尿失禁出現、再発、再手術に関する情報を利用します なお、全てのデータは匿名化され、個人は特定できない状態になっております。 《研究方法》 上記情報を、解析し、各術式の安全性、有効性を比較検討します
個人情報の取り扱い	お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、当該学会で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。
その他 (利益相反等)	開示すべき利益相反状態はありません。
お問い合わせ先	照会先および研究への協力を拒否する場合の連絡先 社会医療法人 社団 カレスサッポロ 時計台記念病院 担当者：医事課 鈴木 〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東1丁目2番3号 ☎ (011) 251-1221